

Mako Ito

2022. 2.20 [Sun]

flute recital vol.2

伊藤眞子

フルートリサイタル vol.2

16:00開演

(15:30開場)

東京都民教会

(下北沢駅より徒歩5分)

チケット4,000円

(当日4,500円)

Program

J.S.Bach : Cello Suite No.3 in C major, BWV1009

J.S.バッハ：チェロ組曲第3番 ハ長調

J.S.Bach : Chaconne from Partita for solo violin No.2 in D minor, BWV1004 arr. Kaori Fujii

J.S.バッハ：パルティータ第2番 ニ短調より シャコンヌ (編曲：藤井香織)

W.A.Mozart : Flute Quartet in C major, K. Anh.171(285b)

モーツァルト：フルート四重奏曲 ハ長調

W.A.Mozart : Flute Quartet in D major, K.285

モーツァルト：フルート四重奏曲 ニ長調

主催：

伊藤眞子フルートリサイタル実行委員会

協力：

フルート奏者伊藤眞子後援会

お問合せ：

info.makoito.fl@gmail.com

<https://www.makoito-flute.com/>

[共 演]



長澤 駿太
Shunta Nagasawa
[ヴァイオリン]



有賀 叶
Kanau Ariga
[ヴィオラ]



饗庭 萌子
Moko Aiba
[チェロ]





©井村重人

伊藤眞子 Mako Ito [フルート]

青森県五所川原市出身。12歳でフルートを始める。青森明の星高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。

第14回日本ジュニア全管打楽器コンクールフルート部門高校生コース第2位。第17回びわ湖国際フルートコンクールアドヴァンス部門第3位。第66回全日本学生音楽コンクール東京大会本選フルート部門高校の部入選。第8回仙台フルートコンクール高校生部門第1位。第21回びわ湖国際フルートコンクール一般部門入選、特別賞として武者小路千家賞を受賞。

2016年4月、第32回Japan Prize (日本国際賞) 授賞式にてオーケストラメンバーとして上皇上皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2016年9月、青森県五所川原市ふるさと交流圏民センター (オルテンシア) コンサートホールにてフルート界の巨匠・William Bennett氏と共演。2017年4月、サウジアラビア王国にてジャパン・フェスティバル・オーケストラで選抜され首席奏者を務める。2020年11月、大泉学園ゆめりあホールにて、フジミフルート工房主催で初のソロリサイタルを行い (ピアニスト・石橋尚子氏) 大盛況を収めた。現在、フリーランス音楽家としてソロや室内楽、オーケストラで、関東周辺のみならず日本各地での演奏の幅を広げている傍ら、コンクール審査員や後進の指導でも積極的に活動中。

これまでにフルートを増田多加、竹澤聡子、堀井恵、神田寛明、萩原貴子、高木綾子、竹澤栄祐、Alena Walentin、藤井香織、高橋聖純の各氏に、フラウト・トラヴェルソを前田りり子氏に、室内楽を須川展也、小畑善昭、伊藤圭の各氏に師事。



長澤 駿太 Shunta Nagasawa [ヴァイオリン]

静岡県出身、4歳よりスズキ・メソッドにてヴァイオリンを始める。オーストリア国立グラーツ芸術音楽大学首席で卒業。

日本演奏家コンクール弦楽部門第1位、神戸国際音楽コンクール優秀賞、オーストリア国立音楽大学奨学制度室内楽部門入賞等、国内外多数のコンクールで入賞。

静岡交響楽団、日本弦楽指導者協会室内楽等、オーケストラとヴァイオリン協奏曲を共演。グラーツ芸術音楽大学選抜オーケストラにてアジア人10年ぶりとなるコンサートマスター就任を始め、Capella Calliope弦楽オーケストラ等、ヨーロッパ各地の演奏会にて客演コンサートマスター及びソリストを務める。2020年3月に完全帰国。

現在、留学の際に師事した大学教授による準備課程生徒への指導アシスタントを務めた経験を活かし、ヨーロッパと日本のヴァイオリン教育をマリアージュした独自の指導法にてレッスンをを行う。2020年8月より日本クラシック音楽コンクール審査員を務め、受賞者演奏会にて客演コンサートマスターに任命。

これまでに、故Thomas Brandis - 元ベルリンフィルハーモニー管弦楽団首席コンサートマスター、Jan Pospichal - 現ウィーン交響楽団首席コンサートマスター・ウィーン国立音楽大学教授、Dominika Falger - 現ウィーン交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者・ウィーン国立音楽大学教授、Stephan Picard - ハンスアイスラー音楽大学ベルリン教授、Anke Schittenhelm - グラーツ芸術音楽大学教授、故Ivry Gitlis - グラーツ芸術音楽大学選抜マスタークラス、Pavel Vernikov - ウィーン私立音楽大学マスタークラス、松原勝也 - 現東京藝術大学教授、梶山久美 - 元東京藝術大学附属音楽高等学校講師の各氏に師事。



有賀 叶 Kanau Ariga [ヴァイオリン]

5歳よりヴァイオリンを始める。

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部にて在学中。

第2回NAGANO国際音楽祭ヴァイオリンコンクール一般の部第3位、第13回洗足学園ジュニア音楽コンクール最優秀賞、第26回かながわ音楽コンクール小学生の部最優秀賞及び神奈川県知事賞(大賞、グランプリ)、第22回日本クラシック音楽コンクール第4位、第15回大阪国際コンクール第3位、2019アルテュール・グリユミオー国際コンクールディプロマ。

2015年青少年のための音楽会にて横浜交響楽団と共演。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学) Student Concert、桐朋学園大学 Student Concert、原田幸一郎とヒルサイドテラス合奏団等に出演。いしかわミュージックアカデミー、ピョンチャンミュージックフェスティバル&スクール、ミュージックアカデミーinみやぎ等に参加。

現在ヴァイオリンを原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。

室内楽を原田幸一郎、磯村和英、堤剛、銅銀久弥、岡本美智子の各氏に師事。



饗庭 萌子 Moeko Aiba [チェロ]

4歳よりアメリカにてJennifer Jahn氏の元でチェロを始める。

霧島国際音楽祭、Vielklang音楽祭、オスロ室内楽祭など数々の音楽祭に参加。MMCJ 2017やSMA 2018、2021に日本よりメンバーとして選ばれる。

2015年より横浜信用金庫で結成されたAquamarin Quartetの専属チェリストとしても活動しており、横浜美術館、大磯橋ホールなど横浜市内にて数々の公演を行う。

室内楽を野口千代光、東誠三、有森博、江口玲の各氏に師事。ヘンシェル弦楽四重奏団等のレッスンを受講。Philippe Muller、Frans Helmerson、Troels Svane、堤剛の各氏のマスタークラスを受講。チェロを菊地知也、西谷牧人、中木健二各氏に師事。東京藝術大学音楽学部卒業を経て、現在 Folk Vang 芸術大学院にて Christoph Richter 氏に師事。